



石 取 祭 春日神社の流鏝馬神事の馬場修理のため、町屋川から石を運んだのがはじまりといわれています。毎年8月第1日曜とその前日に行われ、30数台の祭車が一斉に打ち鳴らす鉦や太鼓の音の大ききから「日本一やかましい祭」と言われる天下の奇祭です。祭車は動く美術館ともいわれ、見事な彫りの彫刻に漆を塗ったもので、豪華な天幕をつけ、勢揃いする様は一見の価値があります。また、平成19年に国指定重要無形民俗文化財になりました。
写真提供：三重県観光連盟

目次・主な内容

■ 新会長・新副会長就任挨拶

2

■ 定時会員総会・特別講演会

4

■ 協会事業活動報告

8

■ リレー随想

11

■ 大学紹介

12

■ 暑中見舞い

14

■ 三重労働局 News

18

■ 委託事業 News

19

■ 事務局 News

20

■ 業務日誌

22



岡本新会長就任挨拶

三重交通グループホールディングス(株)

代表取締役社長 岡 本 直 之

平成23年度定時会員総会におきまして、第11代目の会長を仰せつかりました三重交通グループホールディングスの岡本でございます。もとより浅学菲才ではありますが、粉骨砕身努力致す所存でありますので、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

三重県経営者協会は、「会員相互の啓発により経営の向上を計り、産業の交流に必要な事業の実施・連絡・指導を成す事」を目的に昭和21年に設立され、爾来、近代的な労務、人事管理の推進と健全な労使関係の確立に大きく貢献して参りました。今般、会長職を拝命し、その責務の重さを痛感しているところであります。さて、去る3月11日に発生した巨大地震は想像を絶する被害を東日本各地にもたらしました。改めて被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を切に祈念するものであります。甚大な被害は、日本経済に深刻な影響を与え、各社の業績にも暗い影を落としております。

さらに、企業を取り巻く環境は、中国を始めとするアジア諸国の技術力向上による国際競争の激化、事業の海外移転問題、景気低迷による雇用の減少、環境・エネルギー対策等々、年を追うごとに厳しさを増しているのが実状です。

これらの事態に対処するには、一企業の取組みだけでは難しいところがあり、その解決の一助として、当協会の活動に積極的に参加して頂くことを通じ、会員相互並びに産学の情報交換や相互交流を深めて頂くことが重要ではないかと存じます。

今後の経営者協会のあり方としては、

- ①地域経済の発展に貢献する経済団体として、他団体にない独自性を発揮する。
- ②雇用の安定に労働局、県、学校及び他の経済団体、労働組合と協同・連携して貢献する。
- ③各種会合（公設委員会、審議会）等へ積極的に参画し、経営側の立場を主張する。
- ④集团的労使紛争は安定しているが、個別労働紛争並びに合同労組問題が増加しており、新たに協会活動として対応する。

以上の4点に積極的に取組んで参りたいと考えておりますので、ご支援、ご教導の程よろしくお願い申し上げます。

さて、ここで労使問題について私が思うところを、少し申し述べさせていただきます。私は、春の賃金交渉（春闘）は、かつてのような「闘争の場」ではなく、「労使共同の問題解決の場」とすべきだと考えております。不毛な論争ではなく、建設的な議論を行うべきであり、年に一度じっくりと長期的な問題に取り組む課題解決の場としたいと思います。労使が企業収益のパイを奪い合う時代は終わりを告げ、労使が一緒になって生産性

の向上に努めパイの拡大を図ることが重要であります。

もうひとつ労働組合に期待するのは、経営のチェック機能を果たしてほしいということです。企業の安定した発展には、効率と公正のバランスが重要であります。ただし、経営陣はどちらかと言えば効率に比重を置く一方で、労働組合はかつての社会主義体制が重きを置き、長く人々の心を捉えてきた公正、公平という点にウェイトをかけるのではないかと思います。

しかし今の時代は、経営陣と労働者がイデオロギー対立を超え、共通の土俵に立つパートナーシップの関係にあります。労組や労働運動家の依り所であった社会主義経済が崩壊して既に20年が経過した今、資本主義経済を向後健全に発展させるには、組織内部の自浄能力の強化が必要で、その担い手のひとつが労働組合であります。企業行動が社会の共感を得られるか、反社会的でないかを、生活者の目を持つ労働組合が企業の内部からチェックすることが、企業を生々発展させることにつながります。経営者の言動に目を光らせる役割を、労働組合には担ってほしいと考えます。

建設的な労使関係の確立は、今日に至るまで非常に重要な経営課題であります。諸先輩が築き上げてこられた当協会の理念や方針を踏まえ、皆様方のご支援、ご協力を得て、改革すべきものは積極的に改革し、会員同士のさらに密接な連携を図り、幅広い観点から議論を進めて参りたいと考えます。

最後になりましたが、会員各位のご健勝とご発展を祈念致しまして、はなはだ簡単蕪辞ではありますが、会長就任のご挨拶とさせていただきます。



稲葉新副会長就任挨拶

長島観光開発(株)

代表取締役社長 稲葉 邦成

このたび、副会長に就任をいたしました長島観光開発の稲葉でございます。当社は昭和38年（1963年）設立し「ホテル花水木」、「長島スパーランド」などを経営しておりますナガシマリゾートでございます。48年に亘り三重県のレジャー産業に携わってきた経験を生かし、微力ではございますが、当協会の発展に向けてお役に立てればと考えておりますので会員の皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

東日本大震災が発生してから3か月がたち、未だに終息が見えない福島原発や足踏み状態の被災地の復興、さらに政治の混乱等、先行き不透明感が続いております。厳しい経営環境の中、企業の維持発展、健全な労使関係による雇用の確保や創出など、経営者のみならず、社員一丸となって創意工夫を図ることが大切かと思われれます。

最後に、会員の皆様のご支援、ご協力をお願いするとともに、会員各社のますますのご繁栄を祈念いたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

平成23年度 定時会員総会

～新会長に、岡本 直之氏（三重交通グループホールディングス(株)社長）が就任～

平成23年度定時会員総会を5月30日（月）プラザ洞津「末広の間」で開催いたしました。会員企業から66名の方々にご出席いただきました。



定時会員総会風景

総会では、奥田会長の開会挨拶に続いて審議に入り、平成22年度事業報告並びに収支決算の報告、監事を代表してクレハエラストマー(株)川村社長の代理、奥山主幹による監査報告が行なわれ、満場一致で承認されました。引き続き、平成23年度事業計画案並びに収支予算案が審議され、原案通り承認されました。

続いて、会長、副会長交替及び理事交替案が審議され、満場一致で原案通り承認されました。



退任の挨拶をする奥田前会長

役員改選では、平成18年から5年間にわたり会長

を務められた奥田 卓廣氏（三重交通グループホールディングス(株)取締役相談役）が退任され、後任として、岡本 直之氏（三重交通グループホールディングス(株)代表取締役社長）が就任されました。また、同じく平成18年から5年間にわたり副会長を務められた黒川 正機氏（東邦液化ガス(株)顧問）が退任され、後任として稲葉 邦成氏（長島観光開発(株)代表取締役社長）が就任されました。

理事の交替については、川村 豊氏（有川村伊助商店代表取締役）、吉村 修七氏（三菱化学(株)四日市事業所執行役員事業所長）の2氏に替わり、内田 淳正氏（国立大学法人三重大学学長）、志田 行弘氏（三重テレビ放送(株)代表取締役社長）が選任されました。以上の審議の他、委託事業等の報告がされ、異議なく承認されました。

平成23年度の重点課題として、①協会内部活動とサービス機能強化、②研修、教育セミナーの充実、③地域の雇用・人材活性化への貢献、④日本経団連、中部経連、各県経協及び各団体との連携強化、⑤組織拡大活動の5点が掲げられました。



退任する奥田会長・黒川副会長へ花束贈呈

会員総会終了後、特別講演として、「企業における防災対策・リスク管理」をテーマに、みえ企業等防災ネットワーク運営委員会副委員長の川口 淳氏によりご講演が行われ、130名の参加者がありました。



奥田会長退任挨拶

三重交通グループホールディングス(株)

取締役相談役 奥田卓廣

去る5月30日の定時会員総会をもちまして、当経営者協会会長の職を退任させていただくことになりました。顧みますれば、平成18年6月、先代の三重交通会長の故藤井会長のあとをうけまして、当協会会長に就任以来、今日まで5年が経過致しました。就任当時は本会が創立60年を迎えるという重大な節目の年にも当たり、その責務の重大さに身の引き締まる思いを致しました。

5年間と言う短い月日ではございましたが、この間多くの思い出がございます。特に心に残っておりますのは、会員の皆様と寝食を共にした海外労働視察（3回）、年2回の連合三重トップの三重労使会議等々、その時々の皆様方の顔が次々と浮かび出され感慨ひとしおのものがございます。本当に多くの思い出をありがとうございました。またこの5年間、リーマンショックをはじめ不況の中ではございましたが、副会長の皆様はじめ、理事の皆様、また会員の皆様には協会活動の活性化並びに様々な事業活動にご協力いただきましたこと、心から感謝申し上げる次第であります。

終わりにあたり、冒頭の挨拶でも申し上げましたが、岡本新会長のもと、これからも「健全な労使協調の構築」を軸として、会員企業の人材確保・育成と経営の安定に努めていただき、地域の活性化に貢献する経営者団体としての使命を果たして頂きたいと思います。

それでは、三重県経営者協会の発展と会員の皆様のご多幸を祈念申し上げ、簡単ではございますが退任の挨拶とさせていただきます。



黒川副会長退任挨拶

東邦液化ガス(株)

顧問 黒川正機

このたび、去る5月30日の定時会員総会をもちまして、当協会の副会長を退任いたしました黒川でございます。奇しくも奥田前会長と同じ平成18年に副会長に就任し、お陰様で5年間の副会長職を無事務めることができました。これも皆様の一方ならぬご支援の賜物と心より厚く御礼申し上げます。

江崎副会長の後任として、創立60周年の記念となる年に就任してから、政治も経済も激動の連続でした。自民党政権から民主党への政権交代、サブプライム問題からリーマンショックへと続いた景気大変動。そして東日本大震災と激動の5年間を当協会の運営に携わってまいりました。当協会は、65年の歴史と伝統のある経済団体であります。新しい岡本新会長のもと、今後も産業界の推進役として、大いにリーダーシップを発揮していただきたいと思います。

最後になりましたが、当協会のますますの発展と会員皆様のご繁栄とご多幸を祈念いたしまして、退任のご挨拶とさせていただきます。

特別講演会

「企業における防災対策・リスク管理」

みえ企業等防災ネットワーク運営委員会副委員長 川口

じゅん
淳氏

■予防対策が重要

1995.1.17阪神淡路大震災発生、これが今までの地震の枕詞でありました。今回2011.3.11東日本大震災が発生し、枕詞が変わりつつあります。神戸の住民は阪神淡路大震災が発生するまで、一度も地震らしきものを体験してきませんでした。行政の対応も静岡県に比べれば防災関連予算もかなり低い状況であったのですが、現在では全国で第2位になっています。防災対策の歴史を見てみますと、我が国の災害の根幹は1959年の伊勢湾台風にあります。伊勢湾台風後、災害基本法が策定されました。過去の災害を機に国は災害対策法等を制定してきました。1978年宮城県沖地震の時には、大規模地震対策特別措置法が策定され、1981年建築基準法が一部改正され、現在に至っています。その後、東海地震の震源域が見直され、愛知県寄りに変更し、東南海・南海地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法が策定されました。過去に受けた災害の想定に対して我々の役割、何が出来るのか等検討し、又、インフラ等がどうなるのか、死傷者がどの程度か、産業に与える影響等を覚悟した上で、起こる前に対策を講じれば、想定よりは被害が圧縮されます。我が国は予防対策が重要であります。現在、国が考える大規模地震対策は、「東海地震」「東南海・南海地震」「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震」「首都直下地震」であり、東海地震については今後30年以内に87%の確立とされています。

■今回の地震は…

地震は爆弾とは違い、震源を基点にプレートを破壊していきます。今回の地震で、日本海溝の海溝軸が破壊され、海溝軸から左側で余震が発生しています。そのため普通では考えられない余震が連続しています。余震が段々西に移動して、静岡で発生した時は、地震学者の一部から、「こう言う大地震が起きると北から南まで順番に色々な事が起きる。最後に東海、東南海、南海地震、更に富士山の噴火で終わるとされる。」と言われています。現在の技術では、地震計などのデータを基に、震源からどのように揺れたか。また、地震で何が起こったか解析することができます。データさえ入力すれば地震の発生から忠実に再現することが可能になっています。今回の地震は、東北から千葉まで割れていることがわかりました。問題は、断層やプレートのどこがどんな状態で、どのように壊れるのか分からない点



講演する川口講師

であります。今回の震災の余震回数は、今迄の地震に比べて飛び抜けて多くなっています。2万人を超える死傷者が出て、未だに17万人を超える方々が避難所生活を余儀なくされている状況です。

■現地の被害状況

検索サイトのGoogleは震災から数週間で、震災後のマップに置き換えられました。岩手県宮古市の田老町は、日本で一番立派な津波の防波堤がある場所であったが、津波で崩壊してしまいました。堤防は、津波が越えるまで40分から1時間位ありました。宮古の南の方ですと、海から1km以上離れ、自分が海沿いに住んでいるとは思わなかった地域でさえ、河川が浸水して来て被害を受けました。生死の分かれ目が各地域でわかります。大槌町は庁舎が被害を受けて、町長以下庁舎の前でテントを張って災害対策本部を行おうとしていた時、町長以下職員が津波に流されました。東北地方では、海岸線に45号線が走っています。そこには、そこかしこに、「ここから」「ここまで」と言う東北地方整備局が設置した看板が見られます。これは津波の浸水域・危険水域の表示です。三重県では、矢の川峠や荷坂峠などが「土砂崩れやその他の災害の危険がある」と表示されています。岩手で見ると看板が極めて正確で、看板を越えると町が大被害となっています。よく想定外と言われるが、本当に想定されてなかったかと言うと実はそうではなかったのです。今、私達が岩手県や宮城県の災害浸水マップをどのように作っていたか、見てみるとほとんどが当たっています。リスクを認識して上には逃げた方々は助かりました。現在、地盤が沈下した事により港湾部は満潮になると、毎回毎回冠水する状況にあります。

■被害の想定

地盤のデータ・地形のデータさえ、正確に入力すればシミュレーションできます。これまでの専門調査会の検討を受けて6タイプの地震動を想定し、津波被害に関しては8タイプの地震動を想定します。それに伴い、建物・人的な被害を想定し、この被害想定を我々はどう捕らえるか。起こったことはM9で、想定外で仕方がないと言うのではなく、対応できる想定を作る事が大事であります。死者・行方不明者の数の歴史を見ていくと、伊勢湾台風で約6,000名の死者が出て、国は防災対策のベンチマークにし、それ以降大きな災害の発生がなく、1995年阪神淡路大震災が発生し、約6,500名の死者を出しました。2011年東日本大震災では、約2万人を越える死者・行方不明者となっています。災害による被害総額では、阪神淡路大震災が6兆円、今回は25兆円とされています。数十兆を超える被害が出ると、国の経営に影響を及ぼす事態となります。国の一般会計予算80兆円で、歳出の約半分が借金返済の状態ですが、日本の国民一人一人に余裕があるから現状成り立っています。しかし、国債の暴落があれば大変な事になるので、7～8年程前から国に言い続けています。東海・東南海・南海地震の想定域には、重要な工業地帯があり、日本経済を支えている製造業の重要な地域となっています。現状、国は東海地震と東南海・南海地震を別の災害と位置づけて、防災戦略に基づき、死者数、経済被害額を算出し、減災目標を行います。単純に、東海地震と東南海地震を足すと死者24,000名経済被害額が81兆円になります。これは国家予算に匹敵する金額です。この想定被害を圧縮する事が重要であり、対策を講ずる必要があります。東海地震・東南海・南海地震それぞれ10年間で死者数、経済被害額を半減目標として進められ、平成19年度末における達成率は約3割で、これは税金を投入して公共施設の耐震化が進められています。その中でも三重県は大半の耐震化が行われおり、東海・東南海・南海地震の建物の被害想定は県内で全壊・消失・半壊を合わせて約17万棟となります。これは県内の建物数の約12%にあたります。又、人的被害は県内で死者約1,700名程度が想定されます。(これは津波被害を含みません)

■家庭における対策

各自治体が作成している防災マニュアルをもとに、避難場所・経路の確認をし、非常持ち出し品もマニュアルに書かれているので、これを参考に準備をします。例えば、非常持ち出し品の中身に現金や通帳が本当に必要なのか。今回の震災でもペットの問題があり、ペットフード・ペット用の水も用意しておく必要があります。災害の現場で一番必要な物は、ブルーシートです。そして、給水に使うポリタンクも必要です。事前に家具の転倒防止対策も重要です。津波からの避難は、速やかに高台に移動することが大切です。携帯電話、スマートフォン



特別講演会場風景

は今回の震災でかなり重要な役割を果たしました。電話は繋がらないが、ポケット通信は非常に効果を上げました。171(災害用伝言ダイヤル)、災害用伝言板など携帯電話を災害にどの様に活用するのかを考える必要があります。

■企業における対策

三重県が作成している「三重県中小企業BCPモデル活用ガイド」を参考にして、大規模災害が起こるとどうなるか、すみやかに事業を再開させる為にどうするか、など対策が必要です。そのためにBCP(事業継続計画)が必要となりますが、それを作るプロセスが重要です。BCPを作ると災害に強い企業になり、信頼が高まります。事前に計画したBCPに基づく対応を行うためにも、基本となるのは防災力です。社員の人命を守り、物的な被害を最小限に抑える事が会社の使命です。BCPを作成するにあたり、防災担当部署に任せるのではなく、トップ自ら経営のリスクマネジメントとして取り組み、担当部署に権限を与える必要があります。マニュアルを作っただけでは安心ではありません。マニュアルや仕組みは随時見直しが必要です。

■三重県の今後の想定の見直し

東日本大震災を受けて、想定の見直しが議論されています。今回の震災を踏まえて、三重県の津波の想定も3倍になる可能性もあります。東北との違いは耐震対策で、特に宮城県は耐震率が高く、民間企業や個人の住宅の耐震率は、静岡県や宮城県に比べて雲泥の差であります。津波の到達時間も三重県の南部は、今回よりももっと早く到達する恐れがあります。湾内においては1時間近くあり、堤防を越えてくる時間や対策(ハード・ソフト)にも差がでます。

我々が今やるべき事は、今回の震災で2万人以上の死者・行方不明者が出ている中、行政と民間の力で支え合うとともに、東北の教訓を絶対に生かす必要があります。津波の時は、地域のリーダー(区長)が血相を変えて逃げる事が住民を守る事になり、今、我々が地震や津波に備える街づくりを行う事は、次の世代の街づくりを行う事です。今回のような悲惨な状況にならない対策が重要であります。(文責事務局)

三重経協活動報告

労務管理改善協力委員会5月第1部会

5月13日(金)昭和四日市石油(株)において、労務管理改善協力委員会5月第1部会を開催いたしました。

吉田部会長の挨拶に続き、昭和四日市石油(株)の概要説明の後、バスで製油所の見学を行いました。製油所見学後、基調講演として、「災害から企業を救うマル秘テクニック～企業を守るBCP（事業継続計画）への取り組み～」をテーマに、三重県防災危機管理部地震対策室防災技術指導員 加藤 清氏が講演を伺いました。最近の地震災害の現状と今後の地震災害、災害リスク対応フレームの構築（防災・防火対策、緊急対応への準備、BCPの充実、工程



基調講演の加藤講師

改革活動など）や企業の危機管理体制の見直しやBCPへの取り組みについて事例を交えてわかりやすく講演いただきました。基調講演の後、昭和四日市石油(株)環境安全部環境安全課長代理 伊藤 彰氏と近畿日本鉄道(株)名古屋輸送統括部運輸課長 大内 敬弘氏の両氏より、「わが社の防災対策及びリスク管理」をテーマに事例発表が行われました。東日本大震災を受けて企業の防災対策の見直しを図る必要に迫られている担当者にとって有意義な部会になりました。

当日は25名の出席をいただきました。



労管部会風景

労働保険実務セミナー

4月21日(木)プラザ洞津「明日香の間」において、労働保険（労災保険・雇用保険）実務セミナーを開催いたしました。

当日は18名の参加があり、特定社会保険労務士 御園 富士夫氏（(株)千葉総合コンサルティング代表取締役）から『労災保険』・『雇用保険』の最新の法改正の内容や、各保険の諸手続きの実務ポイントをわかりやすく解説いただきました。実際の届出用紙を使った実務演習も行なわれ、“実際にやってみてとても参考になった”と参加者から好評を得ました。



実務セミナー風景

社会保険実務セミナー

6月24日(金)プラザ洞津「明日香の間」において、社会保険（健康保険・厚生年金保険）実務セミナーを開催いたしました。

当日は16名の参加があり、労働保険実務セミナーに引き続き、特定社会保険労務士 御園 富士夫氏（(株)千葉総合コンサルティング代表取締役）から社会保険のしくみや法令の改正、また、算定基礎届、月額変更届などの定例事務を実際の届出用紙を使って演習を行い、実務上のポイントや参加者からの質問に、わかりやすく解説いただきました。



実技指導する御園講師

インターンシップ事前研修会開催

6月11日(土)津都ホテル5階「伊勢の間」において、おしごと広場みえ共催のインターンシップ事前研修会を開催いたしました。

昨年同様、就職難の状況を反映してか、当日は120名の学生の参加を数えました。下記のプログラムで事前研修会が行われ、学生の熱心に聞き入る態度と若い活気に包まれ、大変有意義な研修会になりました。

■ プログラム

I. 開会挨拶（当協会西場事務局長）

II. 企業側講演

テーマ：「インターンシップを通じて学生に望むこと」

①三重交通(株) 人事課長 中林 広己 氏

②(株)ZTV 総務課長 川北 浩也 氏



講演する中林課長（三重交通(株)）

III. 学生体験談

テーマ：「インターンシップで得たもの」(体験談)

①皇學館大学学生 ②三重大学学生



講演する川北課長（株)ZTV）

IV. 「インターンシップとビジネスマナー」

講師：鈴木 一恵 氏

(有)トーカイマネジメントアソシエイツ(TMA)

①インターンシップの心構え

目的及びアルバイトとインターンシップとの違い

②ビジネスマナー

③インターンシップ目標設定



ビジネスマナーの実践風景



学生を指導する鈴木講師

V. 閉会挨拶（おしごと広場みえ 志明野センター長）

第50回ビデオライブラリー運営委員会

6月30日(木)プラザ洞津「ラ・ルミエール」において、第50回ビデオライブラリー運営委員会を開催いたしました。

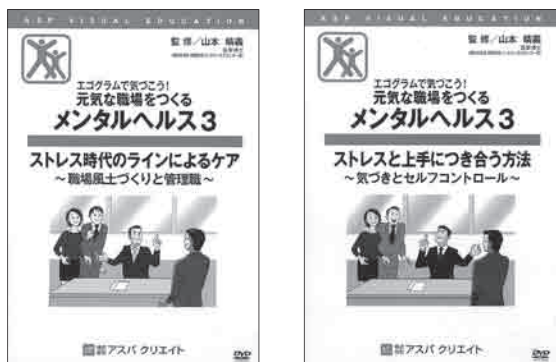
当日は7名の委員が出席し、高林委員長（三重交通㈱取締役人事部長）の挨拶の後、横田専務理事より平成22年度事業概要並びに収支決算の報告、続いて平成23年度の事業計画及び収支予算の説明が行われ、審議の結果原案通り承認されました。次に新規購入のDVD選定について説明が行われ、協議の結果原案通り承認されました。また、利用の無い古い

ビデオテープについて協議が行われ、処分方法等事務局に一任され閉会いたしました。



MVL運営委員会風景

【新規購入のDVD】



※左記のDVDの他に、「職場のメンタルヘルスケア 部下の“うつ”上司にできること」や「新人・若手社員のセルフケア」のDVDもございますので、事務局へお問い合わせください。

当協会会員が運営する『和風レストラン』 皆様のご利用をお待ちしております



〒510-0075
三重県四日市市安島1丁目1-20
三交イン四日市駅前2F

サンコー ツカサ
TEL. 059-350-2300
FAX. 059-350-2301

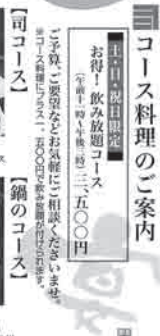
・営業時間 11:00am~11:30pm (L.O 11:00pm)
・ランチタイム 11:00am~3:00pm
・年中無休 (元旦のみ休業)

ぐるなびのホームページでも
詳細をご覧頂けます

QRコードから、携帯電話で簡単にアクセスできます。



【ぐるなび HP】



ご来店ごとにご飲食代(税込)5%割引・1ドリンクサービス(生中又はソフトドリンク)の特典付きカードがございます。無料でカードを発行いたしますので、三重県経営者協会事務局(059-228-3557)までご連絡ください。

最近の若者について思うこと



近畿日本鉄道株式会社
名古屋輸送統括部

運輸部運輸課長

大内 敬弘氏

「最近の若者は・・・」ということばは、古くはギリシャ時代の古文書にも記載があるという。振り返れば私の世代は「ドライな新人類」などと言われていたようだが、今やその言葉自体が時代遅れで全く聞く機会がないのは寂しいばかりである。

私自身ここ2年余り採用・研修などを通じて、求職者や若い社員と話す機会が多くなったが、実は「最近の若者はたいしたものだ。」と感ずることが多い。

まず求職時の準備に感心する。各社とも求職者に対しエントリーシートの提出を求めているが、今の学生は当然のこととして各社毎に一枚一枚手書きで書いている。同じ内容を書いているかもしれないが、真面目に書くというその労力だけでもたいしたものである。私が就職活動をしていた頃はバブル真っ盛りの売り手市場で、今のようなエントリーシートの提出を要求している企業がもしあれば、ほとんど人が集まらなかったであろう。

面接にあたっても十分に準備をしてきており、予想できる質問に対しては、緊張し過ぎさえないければそつのない答えができています。いきあたりばったりで臨んでいた自分と比べると、時代が違うとは言えその努力には感服する。

入社した後も、教わったことは素直に反応し、できる範囲であれば課題はしっかりやってくる者がほとんどで「そんなことをするために会社に入った訳ではない。」と言わんばかりの社員はまず見受けられない。採用数自体が少ないこともあるかもしれないが、自分が入社した頃に比べると随分と真面目で

優秀である。

もちろん物足りなく感じることもよくある。もう既に若くなくなった自分からすると、真面目で優しいあまり、若者らしい元気さを感じる機会が少ない。また、自分が傷つきたくないあまり、人と議論をすることを避ける傾向もみられる。

先日、研修でグループワークをしているのを見ていたが、各班ともなかなかはかばかしい結果を出せていなかった。理由を考えると、グループとして一つの答えを出すためには、たくさんの意見を集めていくことだけでなく、当然取捨選択していくことが重要である。しかし、真面目で優しい最近の若者は、他人の意見を否定することをできるだけ避けようとして、結局、意見の羅列に終わってしまい、自分たちがどうしたいのかよくわからない結論しか出せずにいた。また、声の大きい（影響力のある）メンバーがいた場合は、唯々諾々とその意見に従うことによって、誰も傷つかずに済むため、一人の意見がそのままグループの意見になっていた。

こういうときこそ我々新人類世代（全く新しさはないが）の出番である。あつかましく自分の意見を言ってきた我々の世代が、傷つき失敗することで成長することを教えていかねばならない。まずははっきりと自分たちの欠点を教えた上でその後しっかりフォローしていかなければならない。優しく叱られ慣れしていない彼らに対して、「いつか彼らも気付くだろう。」と考えるのは早計である。傷つくだけで一生気付かないままかもしれない。しっかりとフォローすることで優しさの上に強さを身に付けさせ、会社の将来を背負っていく存在にしていかなければならない。

自分もかつて上の世代からは「最近の若者は…」と思われながら今に至っているはずである。そんな自分が管理職となっているのであるから、「あかく、あせらず、あきらめず」次の世代を教育していくのが自分の仕事である。そう考えて最近の若者に接している今日この頃である。

Vol.7 高田短期大学

「やわらか心の社会人の育成」

現代は少子化・高齢化・IT化の時代であるといわれ、地域社会からは高度な専門知識や技術を身につけた保育者・介護福祉士・オフィスワーカーが求められています。このような時代と地域社会の要請にこたえるのが、高田短期大学の子ども学科・人間介護福祉学科・オフィス人材育成学科です。

高田短期大学では、「仏教精神に基づく人間教育」を建学の精神とし、「『やわらか心』の社会人の育成」を教育の理念としています。この精神・理念に基づき、人それぞれの個性に輝きを見出せる「やわらか心」で社会に貢献できる、魅力ある保育者・介護福祉士・オフィスワーカーを育てます。

「高田短期大学の沿革」

高田学苑は、高田短期大学のほか、高田中学校・高田高等学校を設置しています。高田学苑は、江戸時代の寛保元年（1741年）に真宗高田派専修寺末寺僧侶の研修道場として、専修寺第17世円猷（えんゆう）上人が本山学寮で宗典講義をされたことに始まり、三重県下で最も長い歴史を持つ学校です。

高田短期大学は、昭和41年（1966年）に保育科の設置認可を得て開設され、その後、保育科は幼児教育学科、子ども学科へと名称変更しました。また、昭和59年（1984年）には教養科を設置、その後、教養学科、オフィス情報学科と改組・名称変更され、平成23年（2011年）より、オフィス人材育成学科に名称変更されました。また、平成18年（2006年）には人間介護福祉学科を開設しました。現在はこの3学科を設置しています。

「キャリアカルテを用いた生涯就職支援システムの構築」

文部科学省が募集した、平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」【テーマB】学生支援推進プログラムに本学の取り組み「キャリアカルテを用いた生涯就職支援システムの構築」が採択されました。

①一人ひとりの将来を多方面からサポートします。

「キャリアカルテ」とは、学生の学習状況や成果、進路指導など、一人ひとりの学生に関する情報を一元化し、学力向上と総合的な就職支援において一貫性のある指導を行う新しいシステムです。このシステムは一元化された学生のデータをもとに、将来のニーズにマッチした学びと職業選びを的確に支援していくものです。キャリア教育担当、キャリア支援センター職員、資格担当、授業担当、アドバイザー教員など多方面からブレのない一貫したサポートが可能になりました。



②卒業後の就職活動をしっかりサポートします。

「キャリアカルテ」の機能は、在学中はもちろん、卒業後何年たっても活用ができます。離職後の再チャレンジの際にも本学の卒業生を、全面的にバックアップします。

在学中作成したキャリアカルテ・在学生の就職活動ブログ・就職情報ポータル・進路先データベース・キャリア支援センター内の閲覧、キャリア支援携帯情報受信など、在学中と変わらない万全のサポートを提供します。

③生涯にわたる一貫した就職支援ができる理由

一元化した「キャリアカルテ」は大学に保管されます。卒業後の再就職の際も、これにより在学中の学習状況、取得した資格、就職活動などの情報が、すぐに把握できるため、アドバイザーは一人ひとりの適性に合わせた就職支援ができるようになりました。したがって、在学中の就職活動と変わらないサポートが実現します。高田短期大学の卒業生は、生涯にわたって、強力な就職支援を受けることができます。

お問い合わせ 高田短期大学

〒514-0115 市津身田豊野195

Phone 059-232-2310(代) Fax 059-232-6317

HP: <http://www.takada-jc.ac.jp/>

会員発HOTニュース

会員企業の最新HOTニュース(企業PR・店舗紹介・新商品・新サービス・新装オープン等)をお届けいたします。

■事業案内(井村屋グループ)

井村屋 備蓄・保存用商品のご案内

えいようかん 羊羹(煉) 5本入



備蓄・保存用に最適な5年間の長期保存可能なロングライフ商品です。
万が一の災害・遭難時に手軽にカロリー補給が可能です。

商品特徴

- ・5年6ヶ月の長期保存が可能
- ・どんな方にも安心なアレルギーフリー
- ・1本でごはん1杯分(171kcal)のカロリー補給
- ・すっきりとした「甘さ」と「やわらかさ」で食べやすい
- ・化粧箱には点字で、中身が羊羹であることを表現
- ・災害用伝言ダイヤル「171」を表示したユニバーサルデザイン
- ・備蓄場所をとらない省エネスペース段ボール設計

お求めは、井村屋ウェブショップでどうぞ！
www.imuraya-webshop.jp/

おいしい!の笑顔をつくる
ii 井村屋株式会社

■事業案内(GHIBLI)



有限会社 GHIBLI

我社の企業目標は「いかに地元に貢献するか」ということ。主力業務の運輸部門からスタートした、小さな企業だからこそできる小回りのきく地元密着型の企業です。地元の皆様とのお付き合いの中から生まれた確かな絆と強い信頼感を大切にしながら、日々努力を重ねてまいります。

地元の皆様とともにこれからも…。有限会社GHIBLIの熱い思いは『熱風』の文字で現し、皆様によりよいサービスを続けてまいります。

- 本 店 〒516-0071 三重県伊勢市一之木4-9-9
TEL 0596-24-0250 FAX 0596-24-0250
- 本店管理営業所 〒515-0321 三重県多気郡明和町斎宮9 1 8-1
TEL 0596-53-1151 FAX 0596-53-1152

■事業案内(奥田冷機)

有限会社 奥田冷機



【営業内容】

冷凍 / 空調設備工事・販売、施工
給排水衛生設備工事、換気設備工事、電気工事



【取扱メーカー】

日立、三洋電機、ダイキン、東芝
三菱電機、三菱重工、パナソニック

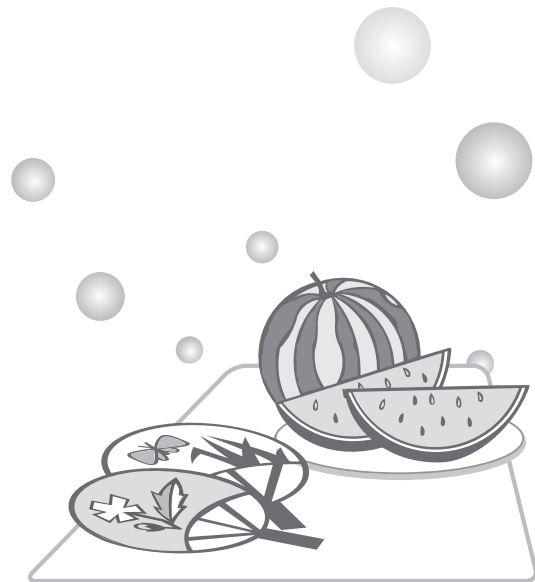
〒516-0066 三重県伊勢市辻久留1丁目1-12
TEL 0596-28-8914
FAX 0596-28-1699



メンテナンスまでトータルサポート致します！
まずはお気軽にお電話下さい。

※ご応募はメール(hotnews@miekeikyo.jp)で承ります。詳細はメールでお知らせします。(掲載は応募順)

暑中お見舞い 申し上げます

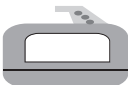


三重県経営者協会

会 長	岡 本 直 之
副 会 長	菊 川 靖 之
副 会 長	小 林 長 久
副 会 長	高 崎 征 輝
副 会 長	澤 田 隆
副 会 長	佐 藤 浩 司
副 会 長	稲 葉 邦 成
専 務 理 事	横 田 正 典
事 務 局 長	西 場 康 弘

(50音順)

株式会社 R&E コンサルタント 経営と労務・福祉・IT・人材育成 代表取締役 小 林 吉 光	ISO27001 情報管理国際認証取得 総合印刷・出版 伊藤印刷株式会社 代表取締役 伊 藤 孝 行
イメージ クリエイト 想像を創造する 各種印刷からホームページなどのデジタル関連商品まで幅広いメディアに対応して、 皆様の情報発信のお手伝いをいたします。 株式会社 アイブレーン TEL 0596-27-1111(代) 代表取締役 楠 木 裕 子	今村会計事務所 所長・税理士 今 村 元 宣
フィッシング遊  アサヒレジャー株式会社 代表取締役社長 上 野 精 一	人を取り巻く全ての予防衛生を支援します 株式会社 イムテス 代表取締役社長 小 林 眞一郎
ISO27001 認証取得工場 印刷のプロフェッショナル 株式会社 伊勢出版 代表取締役 玉 井 信 吾	Canon 上野キヤノンマテリアル株式会社 代表取締役社長 浅 岡 信 行

CS(顧客満足)の向上と人材育成 有限会社 エル・アル・シー 代表取締役 足 坂 三 長 取 締 役 井ノ口 美津子	昼も夜も、まごころガード24時 株式会社 ケージエス 代表取締役 小 山 良 夫 電話 0594-21-3641
有限会社 オーピーエス 岡島パソコンスクール 代表取締役 岡 島 久美子	学校法人 皇學館 理事長 佐 古 一 洸
創業28年 ～ありがとうございます～ ～まごころこめて～製造・物流サポートします  オ-ユー-セス株式会社 従業員一同	御在所  GOZAISHO ROPEWAY ロープウェイ 取締役社長 辻 孝 巳
冷凍／空調／電気 工事・メンテナンスなら 「地域密着!顧客満足度120%」の 有限 奥 田 冷 機 会 社 代表取締役 奥 田 幸 広	超硬及びハイス工具研削専用機(設計・製作) —当社は専用工作機械及び金型部品のメーカーです— 株式 会社 小 林 機 械 製 作 所
 株式 会社 おやつカンパニー 代表取締役社長 松 田 好 旦	三交興業株式会社 名阪関ドライブイン 名阪上野ドライブイン 取締役社長 森 川 正 治
株式会社 菊 川 鉄 工 所 代表取締役会長 菊 川 靖 之	株式会社 三交タクシー 取締役社長 中 川 勝 典
 ふれあい・たいせつに きゅーとら 代表取締役 清 水 秀 隆	 株式会社三交ドライビングスクール 四日市自動車学校 名四自動車学校 取締役社長 北 川 幸 彦
 農業屋 クラギ株式会社 代表取締役社長 竹 内 秀 樹	三交不動産株式会社 取締役社長 長 嶋 賢 次

三交旅行株式会社 取締役社長 竹 谷 賢 一	スポーツを通して全ての人に笑顔を提供します  株式会社 ソル・プランニング 社会的企業（ソーシャルエンタープライズ） 代表取締役 倉田 弘明 http://www.sol-planning.com/ 
新生サポート株式会社 代表取締役 清 本 健一郎	おかげさまで参宮線は全通から100周年  「参宮線全通100周年キャンペーン」開催 (2011.7.1～2011.8.31) 東海旅客鉄道株式会社 三重支店長
 シンフォニアテクノロジー 常務取締役 伊勢製作所長 古 谷 浩 三 (旧)神鋼電機より社名変更致しました)	TOSHIBA Leading Innovation >>> 株式会社 東芝 セミコンダクター&ストレージ社 四日市工場 工場長 佐藤 浩司 TEL 059-330-1001
 SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE 鈴鹿医療科学大学 理事長 高 木 純 一 学 長 作 野 史 朗	東邦液化ガス株式会社三重支店 支店長 寺 本 勝 治
学校法人 享栄学園 鈴 鹿 国 際 大 学 学 長 中 野 潤 三	TOENEC  株式会社 トーエネック 三重支店 執行役員支店長 大 脇 久 生
株式会社 ZTV 取締役社長 田 村 憲 司	有限会社 トーカイマネジメント アソシエイツ 代表取締役 吉 井 清 二
セキュリティコスト削減 お任せください (株)セフティージャパン 代表取締役社長 加 藤 智	湯めぐり海百景 鳥羽シーサイドホテル 代表取締役社長 橋 上 猛
助成金・就業規則承ります。 総合経営労務センター 田中克己特定社会保険労務士事務所 TEL:059-222-1198 FAX:059-222-2918	中辻医科器械株式会社 代表取締役 三 宅 克 治

日本トランスシティ株式会社 代表取締役会長 小 林 長 久	がんばる企業を応援します！  三重県信用保証協会 ホームページアドレス http://www.cgc-mie.or.jp/
プラザ洞津 支配人 大 藪 康 雄 TEL059-227-3291	地域に根ざし世界に誇れる 国立大学法人 三 重 大 学 学 長 内 田 淳 正
マツオカ建機株式会社 代表取締役 松 岡 美江子 TEL:059-365-8271	セキュリティのトップメーカー 美和ロックは「安全」と「安心」を創造お届けしています。  MIWA 美和ロック株式会社
三重いすゞ自動車株式会社 取締役社長 山 谷 行 雄 TEL:059-227-8111	地域の安全と快適を約束する 警備事業・バス事業 株式会社 メイハン 代表取締役 田 畑 博
〈昭35.10.開場〉  株式会社 三重カンツリークラブ 取締役社長 伊 比 昌 弘	 株式会社 安永 代表取締役社長 安 永 暁 俊
三重県観光開発株式会社 取締役社長 小 林 哲 也 専務取締役 宮 脇 栄 治	消防防災で安全安心を創る 株式会社 山 口 商 会 代表取締役社長 山 口 久 彦
三重交通株式会社 取締役社長 森 口 明 好	トップレベルの環境貢献企業を目指す 横浜ゴム株式会社 三重工場 工場長 中 村 亨 TEL:0596-28-3151 
三重交通商事株式会社 取締役社長 宮 本 隆 生	三重県経営者協会 職 員 一 同

三重県経営者協会受託事業

厚生労働省委託 「最低賃金中小企業相談支援事業」 をご利用下さい！

昨年の新成長戦略（閣議決定）で、ディセントワーク（人間らしい働きがいのある仕事）の実現に向け、最低賃金の引き上げに取り組むこととなりました。当県でもこの目標の達成に当たり、最も影響を受けやすい中小事業主の皆様のために、労働面と経営面の相談について、それぞれの専門家がワン・ストップで対応する無料の相談窓口を三重県下（津に相談センター、四日市・伊勢・尾鷲に相談コーナーを設置）に開設しました。

対応できる内容と開設場所は次のとおりですので、是非ご利用下さい。

対 応 内 容

給与制度・給与体系を見直したいのですが…

就業規則をしっかりとしたものにしたいのですが…

販路拡大の方法について知りたいのですが…

もう少し生産効率を上げたいのですが…

社内レイアウトを効率的なものに見直したいのですが…

その他、経営・労務に関すること



※厚生労働省からの委託を受けて行っていますので、ご相談内容、企業、個人情報などは厳守。安心して相談できます。
※相談のみでなく、さらに専門家を無料で各企業へ派遣し、個別にコンサルティングを受けることもできます。
※経済産業局が実施する専門家巡回相談・派遣事業等と連携して対応することとしておりますので、既にこれらを活用されている、又はこれから活用される場合も気軽にお申し付け下さい。

開 設 場 所

名 称	場 所	電話番号	開設日・時間
最低賃金中小企業 津 総合相談支援センター	津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3F 三重県経営者協会内	059-226-0033 (FAX兼用)	1か月：18日 9:00～17:30
最低賃金中小企業 四日市 相談支援コーナー	四日市市諏訪町2-5 四日市商工会議所3F	059-354-1213 (FAX兼用)	1か月：18日 9:00～17:00
最低賃金中小企業 伊勢 相談支援コーナー	伊勢市吹上1-11-31 伊勢志摩労協会館3F 302号 三重労使雇用支援機構内	0596-28-8200 (FAX兼用)	1か月：18日 9:00～17:00
最低賃金中小企業 尾鷲 相談支援コーナー	尾鷲市矢浜1-14-36 三重県尾鷲電気工事業協同組合内	TEL 0597-22-3399 FAX 0597-23-2505	1か月：8日 9:00～17:00

※開設日は、原則、土・日・祝日を除く平日としますが、詳しくは三重県経営者協会のホームページをご確認下さい。

<http://miekeikyo.jp/>

●お問い合わせは

三重労働局労働基準部賃金室

☎059-226-2108

平成23年度

インターンシップの受入 事業所を募集しています

インターンシップは、学生が在学中に企業などで一定期間就業体験を行う教育制度です。
地域の産業界の皆様のご協力があることで初めて実現できる制度ですので、積極的な参加をお願いいたします。

インターンシップ受入登録事業所を募集しております。未登録の会員事業所、またご紹介いただける事業所の方は、事務局 西場（にしば）までご連絡をお願いいたします。

三重県下で約550事業所が現在登録されています。

*参加する学生は、事前研修を受け、インターンシップ保険等に参加した上で実習に参加します。
(事業所側のご負担はありません)

受入事業所にとってのメリット

企業のPR効果

優秀な人材の発掘

職場の活性化

受入による
職業観・就労意識の形成・向上

三重県インターンシップ受入企業開拓業務

三重県委託事業

中高年齢者雇用支援事業

“働く意欲・経験・安心感”のある中高年齢者の再就職支援を行っています！

中高年からのアピール

経験

責任感

安定感

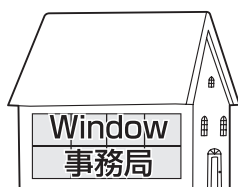
中高年齢者の豊富な経験と
企業が求める人材のマッチングを
コーディネートさせていただきます。

企業様のさらなる発展を
応援致します。

三重労使雇用支援機構 中高年齢者雇用支援事業

〒514-0033 津市丸之内9-18 津丸の内ビル3階（三重県経営者協会内）

TEL：FAX 059-223-7771



新会員の紹介

日本キャボット・マイクロエレクトロニクス株式会社

事業内容 電子材料（CMPスラリー：研磨剤）の製造

代表者 代表取締役 ダマシエク由美子

所在地 津市芸濃町北神山1287-19

電話 059-266-0120

FAX 059-266-0137

ホームページ <http://www.cabotcmp.com/>



有限会社マツヤ

事業内容 金属加工業

代表者 代表取締役 松尾 梅夫

所在地 亀山市下庄町595番地

電話 0595-83-0845

FAX 0595-83-0819



有限会社学舎

事業内容 学習塾

代表者 代表取締役 小川 敏生

所在地 伊賀市問屋町64

電話 0595-24-3597

FAX 0595-24-3598

ホームページ <http://manabiya.info/>



特定非営利活動法人 人材育成センター

事業内容 教育訓練

代表者 理事長 平塚 秀敏

所在地 四日市市安島1丁目2番5号

パークサイドビル内

電話 059-337-8844

FAX 059-337-8845

ホームページ <http://www.ji-center.com/>



有限会社GHIBLI

事業内容 一般貨物自動車運送事業
 代表者 代表取締役 出口 晴美
 所在地 多気郡明和町斎宮918-1
 電話 0596-53-1151
 F A X 0596-53-1152



株式会社野崎

事業内容 飲食業
 代表者 代表取締役 野崎 栄次
 所在地 松阪市長月町9番地
 電話 0598-23-9126



小川・井熊会計事務所

事業内容 会計・税務
 代表者 所長 井熊 信行
 所在地 津市丸之内34-2
 電話 059-226-5735
 F A X 059-224-1395



有限会社明治牛乳松阪中央センター

事業内容 乳類販売業
 代表者 代表取締役 北端 昭彦
 所在地 松阪市大黒田町1046番地
 電話 0598-26-6445
 F A X 0598-26-5782

中部電力からの節電のお願い

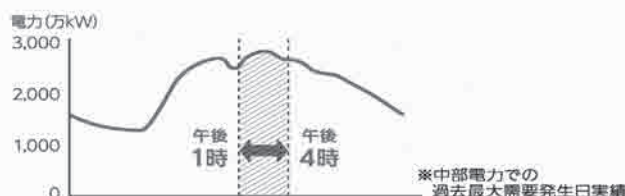
この夏、電気の需給状況が厳しくなることが予想されます。
 ご迷惑をおかけいたしますが、節電にご協力ください。



とくにピーク時の節電にご協力ください

夏期(7~9月)の平日は冷房需要が増え、
 1日の中では午後1時~午後4時頃に
 全体の電力需要が最も大きくなります。
 1日を通じた節電にご協力いただきつつ
 とくに今年の夏は、月・火・水曜日の
 午後1時~午後4時の節電をお願いします。

1日の電気の使われ方



中部電力でんき予報

ホームページ (www.chuden.co.jp) などで
 電気の需給状況についてお知らせしています。

ご存知ですか…こんな機関？

出向・移籍支援事業

「失業なき労働移動」をめざして

人材
送出
企業

- 人員に余剰感がある
- 雇用調整を検討している

- 一時的に仕事量が減り社員の出向先を探しておられる企業
- 支店閉鎖、工場閉鎖などで社員の移籍先を探しておられる企業
- 工場移転を計画されており人材の過不足が発生する企業
- 不採算部門があり人材の移動を考えておられる企業
- 事業規模の縮小を計画されている企業
- 65歳までの継続雇用が自社内では困難で、該当者の再就職を支援したい企業

産業雇用
安定センター
三重事務所

送出情報の
収集・登録

受入情報の
提供

受入情報の
収集・登録

送出情報の
提供

企業どうしの話し合い・面接

無料

出向・移籍の成立

人材
受入
企業

- 事業の拡大、欠員発生などにより、必要な要員を確保したい企業
- 新規部門に精通した人材を採用したい
- 経験豊富な即戦力の人材を確保したい企業

- 人員が不足している
- 人材の補充を検討している

当センターをご利用いただく場合は
前もってご連絡ください。

(財)産業雇用安定センター 三重事務所
TEL 059-225-5449

業務日誌	事業名	とき	ところ	
2011.4.6	日本経団連理事会・地方別経済団体連絡協議会	4.19 (火)	日本経団連会館	経 協 関 係
	労働保険（労災・雇用保険）実務セミナー	4.21 (木)	プラザ洞津	
	監事会	4.28 (木)	事務局	
	会長・副会長会議	5.11 (水)	ホテルグリーンパーク津	
	労務管理改善協力委員会 5 月第 1 部会	5.13 (金)	昭和四日市石油(株)	
	第60回労管コンペ	5.17 (火)	松阪カントリークラブ	
	日本経団連理事会	5.17 (火)	日本経団連会館	
	平成23年定時会員総会・特別講演会	5.30 (月)	プラザ洞津	
	インターンシップ事前研修会	6.11 (土)	津都ホテル	
	日本経団連地方団体連絡協議会	6.14 (火)	日本経団連会館	
	社会保険（健康保険・厚生年金）実務セミナー	6.24 (金)	プラザ洞津	
	第50回M V L 運営委員会	6.30 (木)	プラザ洞津	



三重県経営者協会

TEL 059-228-3557 FAX 059-228-3710

ホームページ <http://miekeikyo.jp>

E-mail info@miekeikyo.jp

平成23年 7月25日 発行
発行人／三重県経営者協会

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3F